

「ナッジ等を活用した食品ロス削減行動促進事業業務委託」受託候補者特定に係る実施要領

(趣旨)

第1条 「ナッジ等を活用した食品ロス削減行動促進事業業務委託」の受託候補者をプロポーザル方式により特定する場合の手続き等については、「横浜市委託に関するプロポーザル実施取扱要綱（以下「取扱要綱」という。）」及び「横浜市委託に関するプロポーザル方式運用基準」に定めがあるもののほか、この実施要領に定めるものとする。

(実施の公表)

第2条 実施の公表にあたっては、実施要領、提案書作成要領、提案書評価基準及び業務説明資料により、次の各号に掲げる事項について明示するものとする。

- (1) 当該事業の概要・事業スケジュール等
- (2) プロポーザルの手続き
- (3) プロポーザルの作成書式及び記載上の留意事項
- (4) 評価委員会及び評価に関する事項
- (5) その他必要と認める事項

(提案書の内容)

第3条 提案書は、次の各号に掲げる事項について作成するものとし、様式は問わない。

- (1) 業務実績、業務の実施体制
- (2) 当該業務に関する具体的な事項
- (3) 企業としての取組

(評価)

第4条 プロポーザルを特定するための評価事項は、次に掲げる事項とする。

- (1) 実績・実施体制
 - ア 実績・経験
 - イ 業務の実施体制
- (2) 業務に関する提案
 - 業務の提案内容と実現性
- (3) 企業としての取組
 - ア ワーク・ライフ・バランスに関する取組
 - イ 障害者雇用
- (4) 市内中小企業の加点

「令和3・4年度横浜市一般競争入札有資格者名簿」に、市内中小企業として登録されているもの

2 提案内容の評価にあたって、提案者へのヒアリングを実施する。

なお、提案者が6者以上いる場合は、提案書による一次評価を行い、上位5者を通過者とし、ヒアリングを実施する。

3 提案書の内容及びヒアリング結果を基に、採点の高い順に受託候補者を決定する。

4 評価結果が同点の場合の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 評価結果が同点の場合には、業務に関する提案の合計点が最も高い者を特定する。
 - (2) 業務に関する提案の合計点数も同点の場合は、実績・経験の点数が最も高い者を特定する。
 - (3) 実績・経験の点数も同点の場合は、提示金額の低い者を特定する。
 - (4) 提示金額も同額の場合は、くじで特定する。
- 5 特定、非特定に関わらず、各々の提案者の評価結果については、その提案者に通知する。
 - 6 評価結果が1位であっても、基準点に満たない場合は委託しないものとする。

(プロポーザル評価委員会)

第5条 プロポーザルの評価にあたっては、ナッジ等を活用した食品ロス削減行動促進事業業務委託プロポーザル評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置し、次の各号に定める事項について、その業務を行う。

- (1) 提案書の評価
- (2) 評価の着目点、評価項目及びそのウェイト並びに評価基準の確認
- (3) ヒアリング
- (4) 評価の集計及び報告

2 委員に委員長及び副委員長を置き、次のとおりとする。

委員長 資源循環局 総務部長
副委員長 資源循環局 政策調整部長
委員 資源循環局 総務課長
資源循環局 政策調整課長
資源循環局 一般廃棄物対策課長

3 委員長に事故等があり、欠けたときには、副委員長がその職務を代理する。

4 評価委員会は、委員の5分の4以上の出席がなければ開くことができない。

5 委員長は、評価結果を資源循環局委託等業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）に報告するものとする。

(評価結果の審査)

第6条 選定委員会は、評価委員会から評価結果の報告があったときは、選定委員会において、次の事項について審査する。

- (1) 評価委員の採点が適正に行われたこと。
- (2) 評価委員会の審議及び採点の集計等が適正に行われたこと。
- (3) 評価結果に関し、必須事項以外に公表する事項の選定
- (4) 特定、非特定結果通知書に記載する理由
- (5) その他必要な事項

附 則

この要領は、令和3年5月24日から施行する。